

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月13日

上場会社名 株式会社銀座山形屋 上場取引所 東
 コード番号 8215 URL http://www.ginyama.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小口 弘明
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 渡邊 光潤 TEL 03-6680-8711
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	4,067	3.6	157	△32.1	208	△27.4	148	△33.9
29年3月期第3四半期	3,924	0.6	231	△7.4	287	△5.4	224	△11.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 243百万円 (△16.7%) 29年3月期第3四半期 292百万円 (49.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	86.21	-
29年3月期第3四半期	130.33	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	5,600	3,392	60.6
29年3月期	5,069	3,235	63.8

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 3,392百万円 29年3月期 3,235百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	0.00	-	50.00	50.00
30年3月期	-	0.00	-	-	-
30年3月期（予想）	-	-	-	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,454	4.7	145	△36.5	200	△31.4	140	△32.0	81.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 社（社名）、除外 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	1,804,471株	29年3月期	1,804,471株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	78,835株	29年3月期	78,783株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	1,725,641株	29年3月期3Q	1,725,699株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の収益改善や雇用・所得環境の改善が進み、景気は緩やかな回復基調が見られますが、アジアを中心とした新興国経済の動向や欧米の政策動向、また北朝鮮の軍事挑発の脅威等、海外の政治情勢は引き続き不安定な中、先行きが懸念される状況で推移しました。

このような環境の下で当社グループは前期に引き続き「世界のオーダーメイド企業をつくる」を合言葉に“ぶれることなく”継続し続けること、磨き続けることに取り組んでまいりました。経営成績につきましては、売上高は4,067百万円(前年同四半期比3.6%増)となりました。利益面については紳士コート工場を譲り受けし、事業を開始したことによる費用増加及び前連結会計期間の出店店舗にかかわる費用増加等により、営業利益157百万円(前年同四半期比32.1%減)となりました。営業外収益においては受取配当金29百万円や受取手数料13百万円の計上等があり、経常利益208百万円(前年同四半期比27.4%減)となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は減損損失16百万円の計上及び法人税等43百万円の計上により148百万円(前年同四半期比33.9%減)となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間における店舗数は、㈱ウイングロード24店舗、日本ソーイング㈱11店舗であり、グループ合計で35店舗となっております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第2四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分方法等を変更しており、前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較しております。

小売事業が売上高2,249百万円(前年同四半期比5.8%増)、営業利益148百万円(前年同四半期比25.0%増)、卸売事業が売上高1,083百万円(前年同四半期比0.1%減)、営業利益28百万円(前年同四半期比57.7%減)、受託縫製事業が売上高2,223百万円(前年同四半期比1.8%増)、営業利益24百万円(前年同四半期比64.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期期末当第3四半期期末の総資産は、前連結会計年度末と比較して531百万円増加し、5,600百万円となりました。

資産の部では、流動資産が前連結会計年度と比較して339百万円増加しました。これは、主に季節要因による現金預金の増加251百万円等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度と比較して191百万円増加しました。これは主に保有する投資有価証券の時価の増加129百万円等によるものであります。

負債の部では、前連結会計年度末と比較して373百万円増加し2,207百万円となりました。これは、主に季節要因及び当第3四半期期末が銀行休業日だったことにより買掛金等の決済が翌四半期にずれ込んだことによるものであります。

純資産の部においては、四半期純利益の計上148百万円やその他有価証券評価差額金が94百万円増加した一方で、配当を86百万円実施した結果、当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度と比較して157百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の業績予想につきましては、概ね計画どおり推移しており平成29年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

なお、この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,352,972	1,604,083
受取手形及び売掛金	575,546	527,353
商品及び製品	163,958	183,545
仕掛品	27,295	31,574
原材料	131,533	148,257
繰延税金資産	52,342	39,874
その他	59,806	167,999
貸倒引当金	△1,011	△761
流動資産合計	2,362,445	2,701,927
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	233,571	219,430
その他(純額)	355,499	390,443
有形固定資産合計	589,070	609,874
無形固定資産		
のれん	-	29,467
その他	4,443	17,286
無形固定資産合計	4,443	46,753
投資その他の資産		
投資有価証券	1,264,480	1,393,528
敷金及び保証金	726,351	721,013
繰延税金資産	2,401	5,595
その他	131,380	133,061
貸倒引当金	△11,094	△11,094
投資その他の資産合計	2,113,519	2,242,105
固定資産合計	2,707,033	2,898,733
資産合計	5,069,478	5,600,661
負債の部		
流動負債		
買掛金	209,621	396,086
未払法人税等	38,776	23,227
ポイント引当金	49,130	46,633
その他	505,833	690,617
流動負債合計	803,362	1,156,565
固定負債		
役員退職慰労引当金	95,779	92,592
退職給付に係る負債	581,131	583,711
資産除去債務	203,826	204,005
繰延税金負債	121,279	141,484
その他	28,728	29,564
固定負債合計	1,030,745	1,051,357
負債合計	1,834,107	2,207,923

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,727,560	2,727,560
利益剰余金	480,061	542,543
自己株式	△80,579	△80,668
株主資本合計	3,127,042	3,189,436
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108,327	203,302
その他の包括利益累計額合計	108,327	203,302
純資産合計	3,235,370	3,392,738
負債純資産合計	5,069,478	5,600,661

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）
売上高	3,924,410	4,067,411
売上原価	1,795,502	1,906,000
売上総利益	2,128,907	2,161,411
販売費及び一般管理費	1,897,077	2,003,886
営業利益	231,829	157,524
営業外収益		
受取利息	253	259
受取配当金	30,463	29,924
受取手数料	13,747	13,185
助成金収入	8,212	5,830
雑収入	3,345	2,964
営業外収益合計	56,020	52,163
営業外費用		
支払利息	313	413
雑損失	76	515
営業外費用合計	389	928
経常利益	287,460	208,760
特別損失		
減損損失	-	16,276
特別損失合計	-	16,276
税金等調整前四半期純利益	287,460	192,483
法人税、住民税及び事業税	56,111	45,186
法人税等調整額	6,441	△1,470
法人税等合計	62,552	43,716
四半期純利益	224,908	148,766
親会社株主に帰属する四半期純利益	224,908	148,766

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	224,908	148,766
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67,795	94,974
その他の包括利益合計	67,795	94,974
四半期包括利益	292,703	243,741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	292,703	243,741

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	2,125,762	1,084,333	706,558	3,916,654
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	1,477,465	1,477,465
計	2,125,762	1,084,333	2,184,023	5,394,119
セグメント利益	118,651	68,054	67,216	253,921

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	253,921
棚卸資産の調整額	3,276
その他の調整額	△3,904
全社収益(注1.)	206,295
全社費用(注2.)	△227,759
四半期連結損益計算書の営業利益	231,829

(注1.) 全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料、不動産賃貸収入等であります。

(注2.) 全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	2,249,571	1,083,412	727,123	4,060,107
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	1,496,621	1,496,621
計	2,249,571	1,083,412	2,223,744	5,556,729
セグメント利益	148,309	28,768	24,060	201,138

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	201,138
棚卸資産の調整額	162
その他の調整額	△2,567
全社収益(注1.)	218,823
全社費用(注2.)	△260,032
四半期連結損益計算書の営業利益	157,524

(注1.) 全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料、不動産賃貸収入等であります。

(注2.) 全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成29年7月20日にファクトリー玉野株式会社を設立し、譲り受けた紳士コート縫製事業を同社にて行うことに伴い、当社グループ各事業の進展状況に照らし営業形態等を勘案の上、第2四半期連結会計期間より報告セグメントの区分方法の見直しを行いました。

その結果、ファクトリー玉野株式会社は「受託縫製事業」セグメントに含め、従来の「受託縫製事業」から「bref販売」を「小売事業」へ、「卸売事業」から「地方受託販売」を「受託縫製事業」へそれぞれ変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

全社資産として事業譲受によるのれんを計上しております。

当該事象によるのれんの発生額は、34,231千円であり、当第3四半期累計期間におけるのれんの償却額は4,763千円であります。

なお、のれんの金額は取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。